

SHINKIN REPORT

平成28年度4月1日
▼
平成28年度9月30日

2016

松本信用金庫 平成28年度(第96期)上半期ディスクロージャー

地域とともに、
人々と明日を目指します。



松本信用金庫キャラクター「ジョン君」

平成28年度上半期トピックス

- 4月 ●「エリア母店制度」導入
●交通安全「黄色いハンカチ」を新入学児童へ進呈
●「第6回 起業セミナー」開催
- 5月 ●信寿会ふれあい親睦の旅
「東北復興応援企画～東日本大震災から丸5年。私たちは決して福島を忘れない～」
- 6月 ●懸賞付定期預金「ジャンボ21th」発売開始
●「特定専門家派遣業務」および「再チャレンジ支援業務」開始
(株)地域経済活性化支援機構連携
●「信用金庫の日」献血・清掃・募金活動
●「森林(もり)の里親事業(しんきんの森林)」もみじの苗木を植樹
●しんきん同友会春季講演会
講師:西成活裕氏
演題:「シゴトに学ぶ渋滞学」
- 7月 ●みらい創造経営塾開講
●「健康寿命延伸都市・松本」プロジェクト企業連携事業講演会
講師:間寛平
演題:「がんを乗り越えて～「アスマラソンの裏側すべて話します」～
- 8月 ●「松本ぼんぼん」等夏祭りに各店が参加
●事業承継・M&Aセミナー(信金キャピタル株共催)
- 9月 ●「松本山雅FCスイーツフェスタ 2016」参加店舗募集



当金庫の概要 (平成28年9月30日現在)

本店所在地	〒390-0873 長野県松本市丸の内1番1号 TEL 0263-35-0001	預 金	4,032億円	常勤役員数	326人
設 立	大正11年2月	貸 出	1,825億円	店 舗 数	28店舗
		出 資	11億円		

「LINE」による情報発信を開始しました。



松本信用金庫キャラクター
ジョン君が
うれしい情報をお届けします!

LINE@
はじめました。

松本信用金庫では、スマートフォンのコミュニケーションアプリ「LINE」において当金庫の「LINE@ (ラインアット)」のアカウントを開設しました。
「LINE」は、LINE株式会社が提供するコミュニケーションサービスで、日本国内で多くのユーザーを保有する人気のスマートフォンアプリです。
今後「LINE@」を利用し、イメージキャラクターの「ジョン君」が、キャンペーン情報や商品情報、「ジョン君」情報、松本の情報などをお届けします。

ジョン君
LINEスタンプ

当金庫イメージキャラクター「ジョン君」のスタンプを「LINEクリエイターズスタンプ」にて取扱いを開始しました。様々な表情をみせるジョン君のスタンプを使って、楽しいトークをお楽しみください!
なお、友だち登録方法等詳細につきましては、当金庫ホームページにてご確認ください。



※ジョン君LINEスタンプの一例です。

松本信用金庫のホームページをリニューアルしました!

各種商品・サービスをはじめ、当金庫の最新情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

[ホームページアドレス]

<http://www.matsumoto-shinkin.jp/>



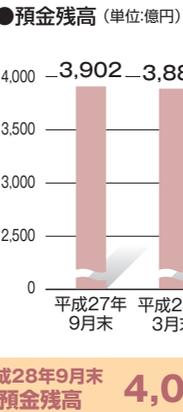
平成28年度上半期の業績ハイライト

平素は、松本信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございました。誠にありがとうございます。

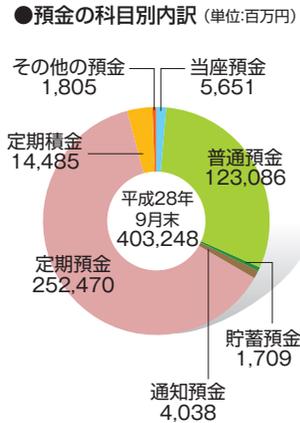
このたび、当金庫の平成28年度上半期(平成28年4月1日から平成28年9月30日)の業績をまとめました「平成28年度(第96期)上半期ディスクロージャー」を作成いたしました。ご高覧のうえ、当金庫の経営につきまして、より一層のご理解をいただければ幸いです。

預金・貸出金の状況はどうでしたか？

地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、目的や期間に応じた各種商品をご用意しております。また、きめ細やかな営業活動により取引基盤の拡大に努めております。

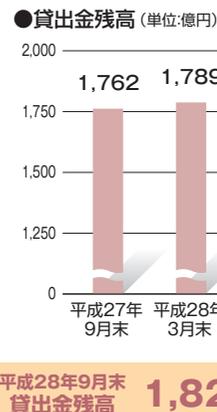


地域の皆さまの温かいご支援により、法人・個人ともに堅調に推移し、平成28年3月末比146億円の増加となり、総預金残高は4,032億円となりました。

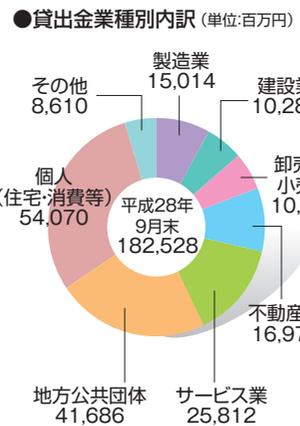


A

地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、お客さまの様々な資金ニーズに応え、事業資金や住宅・教育資金などにご利用いただいております。地域経済の発展と地域社会の活性化のため、円滑な資金提供を行うよう心掛けてまいります。



貸出金は、堅調に推移し平成28年3月末比35億円の増加となり、総貸出金残高は1,825億円となりました。



A Q

収益の状況はどうでしたか？

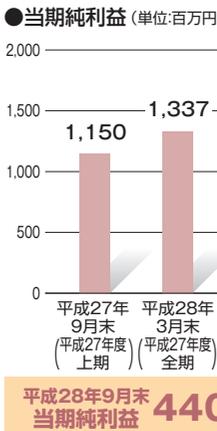
収益は、業務純益309百万円、経常利益489百万円、当期純利益440百万円となりました。引き続き、安定的な収益と経営基盤の強化に向け取り組んでまいります。



※業務純益……業務粗利益から業務遂行に必要な経費等を控除した利益で、金融機関の基本的な業務に係る利益を示しています。



※経常利益……業務純益に、業務外の損益を加減した利益で、金融機関の経常的な営業活動の成果を示しています。

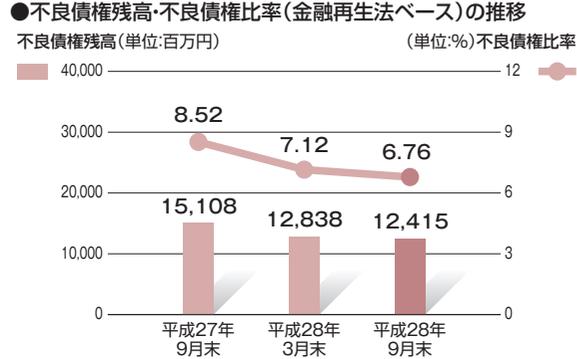


A Q

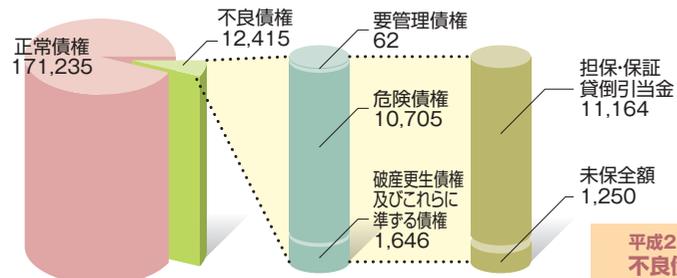
不良債権の状況はどうでしたか？

当金庫では、保有する資産(貸出金など)について、「金融検査マニュアル」に基づいた厳格な自己査定を実施し、その結果に基づいて償却・引当を行い、より健全な資産状況を目指しております。開示金額につきましては、平成28年9月末時点で自己査定を行い、それをもとに債権額を各開示区分へ反映させております。

※不良債権比率Ⅱ(金融再生法上の不良債権) 金融再生法上の開示債権×100



●金融再生法開示債権保全状況

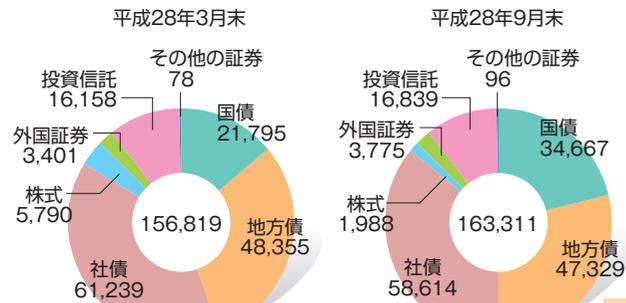


●有価証券の状況

		平成28年3月末			平成28年9月末		
		簿価	時価	差額	簿価	時価	差額
その他有価証券	株式	5,423	5,790	366	2,134	1,988	△145
	債券	117,706	122,389	4,682	128,808	133,511	4,702
	その他	18,821	18,841	20	20,235	20,113	△121
合計	141,951	147,021	5,069	151,178	155,613	4,435	
満期保有目的有価証券	債券	9,000	9,186	185	7,099	7,216	116
	その他	796	811	14	597	604	6
合計	9,797	9,997	199	7,697	7,820	122	

(注)「その他」は、外国証券、投資信託およびその他の証券です。

●有価証券種類残高 (単位:百万円)



平成28年9月末 有価証券残高 **1,633億円**

A Q

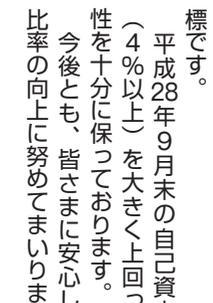
有価証券の状況はどうでしたか？

地域の皆さまからお預かりしたご預金はご融資のほか、安全性や収益性に留意して有価証券で有効に運用しております。

A Q

自己資本比率はどうでしたか？

自己資本比率とは、リスクのある資産(リスク・アセット)に対して自己資本がどれくらいあるかを示す重要な指標です。平成28年9月末の自己資本比率は16.00%と国内基準(4%以上)を大きく上回っており、経営の健全性・安全性を十分に保っております。今後とも、皆さまに安心していただけるよう、自己資本比率の向上に努めてまいります。



項目	平成28年3月末	平成28年9月末
①コア資本に係る基礎項目	20,828	21,251
会員勘定の額	20,227	20,666
うち出資金の額	1,106	1,105
うち利益剰余金の額	19,143	19,561
うち外部流出額(△)	22	-
基礎項目に算入される引当金の額	601	584
うち一般貸倒引当金算入額	601	584
②コア資本に係る調整項目	42	41
うち無形固定資産の額	16	23
うち繰延税金資産の額	25	38
③自己資本の額(①-②)	20,786	21,210
④リスク・アセット等の額の合計額	138,266	132,523
自己資本比率 ③/④	15.03%	16.00%

*本資料の記載金額は単位未満を切り捨てて表示してあります。
*記載事項については、監査法人の監査を受けておりません。